

顛末書

名 称	中野市豊田地域小学校統合準備委員会 第4回施設部会
日 時	令和2年2月7日(金) 午後6時30分～午後8時5分
会 場	豊田公民館 101号会議室
出席者	出席委員 6名 原田孝男部会長、小林日出夫、中島成一、加藤善彦、傳田友久、両澤宏樹、坂本善徳 事務局職員等 阿藤学校教育課長補佐兼総務係長、土屋施設係長、清野指導主事、吉越技師、宮崎主査
次 第	1 開 会 2 あいさつ (原田部会長) 3 会議事項 (1) 工事の進捗状況について → 工事の進捗状況を報告し、工期内しゅん工が困難であり、工期延長をする旨を説明した。 → 要望されていた新体育館での中学校卒業式について、挙行は困難である旨を説明した。 → 上記の理由として新体育館における外壁資材の調達が間に合わない旨を説明した。 (2) 外構整備について → 外構整備について要望を聞いた。 4 その他 5 閉 会
主な質問・意見等	<p>【工事の進捗状況について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 工期延長はどのくらい見込んでいるか。 → 現時点では正確な時期は言えない。 ● 工期内にしゅん工できないと把握したのはいつ頃か。もっと早く情報を出すべきだったのではないか。 → 12月末頃に把握した。情報の出し方についてはお詫びをする面もあるが、見通しも含めてぎりぎりまで検討し、工期延長をせざるを得ないとの結論に至った。 ● 外壁を張ってから内装が完了するまでどのくらいの期間がかかるか。 → 2ヶ月程度である。 ● 外壁資材の調達が間に合わないことを把握した時点で他の方法は検討したのか。 → 材料を変更することなど設計変更も検討したが、今回の設計であがっている資材は体育館の外壁としてはかなり長持ちする資材であることの中で、工期内しゅん工を優先するか、良質な材料を使うことを優先するかを設計業者等と検討した結果、後者とした。 ● 開校までには間に合うのか。 → 開校には間に合う。 ● 外壁の資材が調達できるのはいつくらいになるのか。 → 5～6月頃と見込んでいる。 ● プールは来年度使えないのか。 → 間に合わない可能性が高い。 <p>【外構整備について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 中学校の中庭をウッドデッキにしてほしい。 ● 駐車場は何台程度か。 → 敷地全体で約 60 台程度。 ● 運動会などイベント時の駐車場はどうなるのか。 → 豊田支所等での対応を調整していく。 ● 舗装は凍結して滑らないような方法を考えてほしい。

	<ul style="list-style-type: none"> ● 豊井小と永田小にある門柱などはもってこれないか。 → ブロック塀の事故を受けて高さのあるものは困難である。 ● 屋外広場の形状は。 → アスファルト舗装の予定である。 ● 中学校の昇降口前のスペースと比べると小学校は格段に狭いのでは。 ● グラウンドにおいて、100m走をするにあたり駆け抜けが短いと思う。 ● サブグラウンドのネットの高さは。 → 5mを予定している。 ● 排雪場所はどこを予定しているか。 → 検討していく。
<p>今回のまとめと 次回の検討事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 工期内でのしゅん工が困難であり、工期を延長する旨を確認した。 ● 出された意見等を参考に外構整備計画を検討していく。